

iU 情報経営イノベーション専門職大学 2027年度

私費外国人留学生(日本国外) 入学者選抜ガイドブック

※2026年3月時点の情報です。掲載内容に変更が生じる場合があります。
詳細については必ず2026年7月公開予定の『2027年度入学者選抜要項』をご確認ください。

目次

- P3.....iU 情報経営イノベーション専門職大学の概要／学力の3要素の評価
- P4.....ディプロマ・ポリシー／カリキュラム・ポリシー／アドミッション・ポリシー
- P6.....出願方法／受験の流れ／入学検定料／学生納付金
- P7.....学費等の分納／特待生選抜
- P8.....私費外国人留学生 奨学生制度
- P9.....進級時学費減免制度／入学検定料免除制度／学校法人電子学園 日本電子専門学校との併願割制度／親族入学優遇制度
- P10.....一般選抜

その他・お問い合わせ

- P11.....過去問題／2025年度 入学試験結果／入試に関するお問い合わせ先／アクセスマップ

個人情報の取扱について

出願時に収集した個人情報は、入学者選抜試験、合格発表、入学手続きおよびこれらに付随する業務のために利用します。その際は、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等のないよう、適切な管理を行います。また、上記の業務に関して、一部を委託する場合があります。その場合、委託先に対し契約等により適切な管理を義務付けます。

iU 情報経営イノベーション専門職大学の概要

1.教育理念

変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する

2.大学の目的

「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する」ことを教育理念とし、広くイノベーションに関する知識と専門の学術を深く教授研究し、専門性が求められる職業を担うための実践的かつ応用的な能力を展開させることを目的とする。

3.学部の目的

変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、新たなサービス・ビジネスを生み出す人材を育成し、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する。

4.学部・学科名称

情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科

5.修業年限

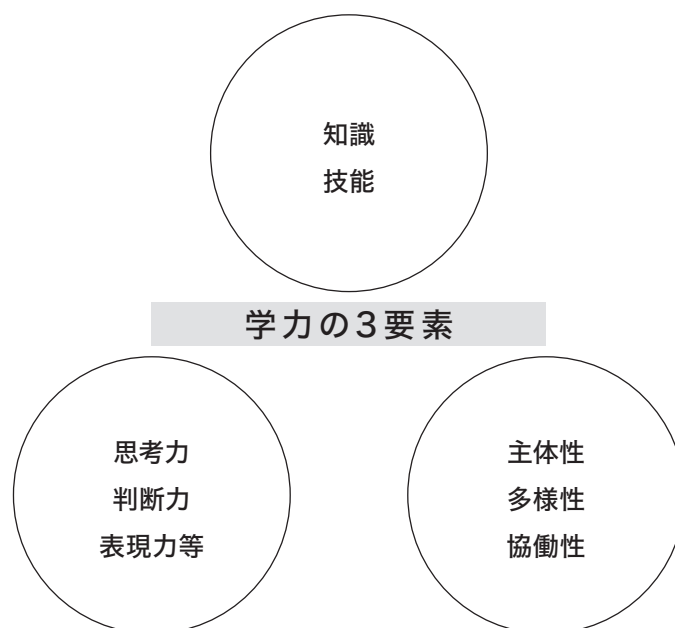
4年

6.募集定員

160名

学力の3要素の評価

iUの入学者選抜では、『学力の3要素』を多面的・総合的に評価しています。



ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

本学では、変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、新たなサービス・ビジネスを生み出す人材を育成することを目標に、以下の能力を身に付けた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

職業的自立を 図る能力	自分のライフ・キャリアに関する明確な目標を持ち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できる。
	国際的な視野を持って様々な人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識を身に付けている。
	変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができる。
経営に関する 知識・スキル	企業経営やビジネスの継続的改善に向けた目標を設定し、それを状況に応じながら計画的に実行できる。
	市場の情報収集や調査を行い、経営課題やサービス・ビジネス創出の機会を発見できる。
	企業の持続性の観点から評価・分析する理論的知識と実践力を身に付けている。
情報通信技術に 関する 知識・スキル	情報科学の基礎理論を理解し、それを情報通信技術の実装に繋げられる基礎的な技能を身に付けている。
	情報通信技術を用いた実社会における諸課題に対する解決法を導出できる。具体的には、以下のいずれかの素養を身に付けている。 ・情報システムの基本構成を理解し、顧客の要望に基づき、計画的にシステム基盤を整備するための知識・技能を身に付けている。 ・アプリケーション開発に関する知識・技能を基に、新たな付加価値のある情報通信技術を考案できる。 ・ネットワーク通信の仕組み、情報セキュリティの全体像を理解し、その知識を情報システムの構築や安全かつ安定したシステム運用に活用できる。 ・膨大かつ多種多様なデータを収集・分析し、そこに潜む数理的な法則・関係性を洞察する基礎的な能力とデータサイエンスを応用した情報通信技術の知識を身に付けている。
国際的 コミュニケーション 能力	国際的なビジネスの現場で説明、意見交換・討論、交渉など、必要なコミュニケーションをとることができる。
	国際的な舞台で他者と協働しながらビジネスを推進する上で必要となる異文化を受容する態度や国際的視野を身に付けている。
時代の変化に対応する ビジネスの総合力	経営と情報通信技術に関する理論的知識と実践的知識を融合し、国際社会や地域社会の産業発展に寄与する革新的なサービス・ビジネスの創出に繋げる創造力を身に付けている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

卒業認定・学位授与の方針に掲げる知識・スキルなどを修得させるために、基礎科目、職業専門科目、展開科目、総合科目から構成される順次性のある体系的な教育課程を編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業方法により展開する。学修内容、学修指導の方法、学修成果の評価については以下のとおりとする。

1.学修内容

基礎科目・現代社会基礎科目は、生涯にわたり自らの資質を向上させ、職業的自立を図るべく必要な能力を獲得するため、以下の学修内容で構成する。

基礎科目・ 現代社会基礎科目	自分のライフ・キャリアに関する明確な目標を持ち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できるようにキャリアデザインや基本的なビジネススキルについて学ぶ。
	国際的な視野を持って様々な人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識を身に付けるため、現代社会の諸相や外国語を学ぶ。
	変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができるよう数学的な思考法を学ぶ。

職業専門科目のうち経営科目は、企業の戦略立案と組織管理に関する理論を理解し、その考え方を活かして企業経営の現状を評価・分析した上で、目指すべき姿を実現する能力を獲得するため、以下の学修内容で構成する。

職業専門科目・ 経営科目	企業経営やビジネスの継続的改善に向けた目標を設定し、それを状況に応じながら計画的に実行できるよう組織管理について学ぶ。
	市場の情報収集や調査を行い、経営課題やサービス・ビジネス創出の機会を発見できるようマーケティングの手法を学ぶ。
	企業の持続性の観点から評価・分析する理論的知識と実践力を身に付けるため、企業会計や企業法務を学ぶ。

職業専門科目のうち情報通信技術科目は、情報科学の理論を理解し、情報通信技術を活用して実社会における諸課題の解決に取り組むことができる素養を培うために、以下の学修内容で構成する。

職業専門科目・ 情報通信技術科目	情報科学の基礎理論を理解し、それを情報通信技術の実装に繋がられる基礎的な技能を修得するため、コンピュータの動作原理やプログラミングを学ぶ。
	<p>情報通信技術を用いた実社会における諸課題に対する解決法を導出できるよう以下の内容を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報システムの基本構成を理解し、顧客の要望に基づき、計画的にシステム基盤を整備するための知識・技能を身に付けるため、ITインフラストラクチャの設計・構築手法やデータベース技術、クラウド技術などを学ぶ。 ・アプリケーション開発に関する知識・技能を基に、新たな付加価値のある情報通信技術を考案できるようアプリケーションのデザイン手法、設計・開発手法やそれを実装するための技術を学ぶ。 ・ネットワーク通信の仕組み、情報セキュリティの全体像を理解し、その知識を情報システムの構築や安全かつ安定したシステム運用に活用できるようネットワーク技術や情報セキュリティリスクの管理手法を学ぶ。 ・膨大かつ多種多様なデータを収集・分析し、そこに潜む数理的な法則・関係性を洞察する基礎的な能力とデータサイエンスを応用した情報通信技術の知識を身に付け、実社会における課題解決に活用できるようデータ解析の手法や人工知能技術を学ぶ。

展開科目・グローバルコミュニケーション科目は、文化的背景の異なる他者と協働するために必要なコミュニケーション能力や国際感覚、国際的な視野を身に付けるため、以下の学修内容で構成する。

展開科目・ グローバル コミュニケーション 科目	国際的なビジネスの現場で説明、意見交換・討論、交渉など、必要なコミュニケーションをとることができるよう外国語運用能力の向上を図るとともに、場面に応じた外国語による表現技法を学ぶ。
	国際的な舞台で他者と協働しながらビジネスを推進する上で必要となる異文化を受容する態度や国際的視野を身に付けるため、自文化・異文化、国際社会の変遷・動向、国際化社会における様々な業界の特性などについて学ぶ。

職業専門科目のうち領域共通科目および総合科目は、経営と情報通信技術に関する理論的知識と実践的知識を融合し、国際社会や地域社会の産業発展に寄与する革新的なサービス・ビジネスの創出に繋げる創造力を獲得するため、以下の学修内容で構成する。

職業専門科目・ 領域共通科目/ 総合科目	実践的なプロジェクト型演習を中心に、経営と情報通信技術に関する知識・技能、国際的な感覚・視野を統合的に活用し、他者と協働しながら新たな経済的・社会的価値を生むサービス・ビジネスの創案に取り組む。
	経営や情報通信技術に関する知識を基に、ビジネスプランを立案し、その実現に向け、他者を説得し資金調達等に繋げる手法を実践的に学ぶ。
	企業等における600時間の臨地実務実習を通じて、新たなサービス・ビジネスを創出する上で必要となる計画立案・遂行力、課題発見・分析・解決力等のビジネススキルを実践的に学修する。

2.学修指導の方法

(1)	4年間を通じて学生個々の学修成果を定量的・定性的に記録した学修ポートフォリオを作成する。学修ポートフォリオを活用して教員組織と事務組織の連携の下に、学生が学修状況を内省し、明確な目標を持って計画的に学修を進められるよう必要な助言・指導を行う。
(2)	授業は原則40名以下で実施する環境を整備し、各授業科目の学修内容・到達目標に応じて講義、演習、実習又はこれらの併用により行う。その際、必要な知識の修得に配慮するとともに、グループ討議やグループワーク、プロジェクト型演習などの授業手法を適切に取り入れ、学生の主体的な学びを促す。
(3)	学生が教育課程の体系を理解した上で履修する授業科目を選択し、自身の志向に応じて学修を進められるよう履修モデルを活用した履修指導を行う。
(4)	LMS (Learning Management System) による授業の事前事後学習の推進や結果のモニタリングを行う。

3.学修成果の評価

(1)	シラバスにおいて各授業科目の到達目標と成績評価の方法・評価割合を明示し、それによって適切に学修成果を評価する。また、成績評価は試験又はレポートを中心に行う。
(2)	各授業科目の成績評価を基に、各学生の成績評価の全体平均を示す総合成績評価GPA (Grade Point Average) を算出し、履修指導等に活用する。

アドミッション・ポリシー (入学者受け入れの方針)

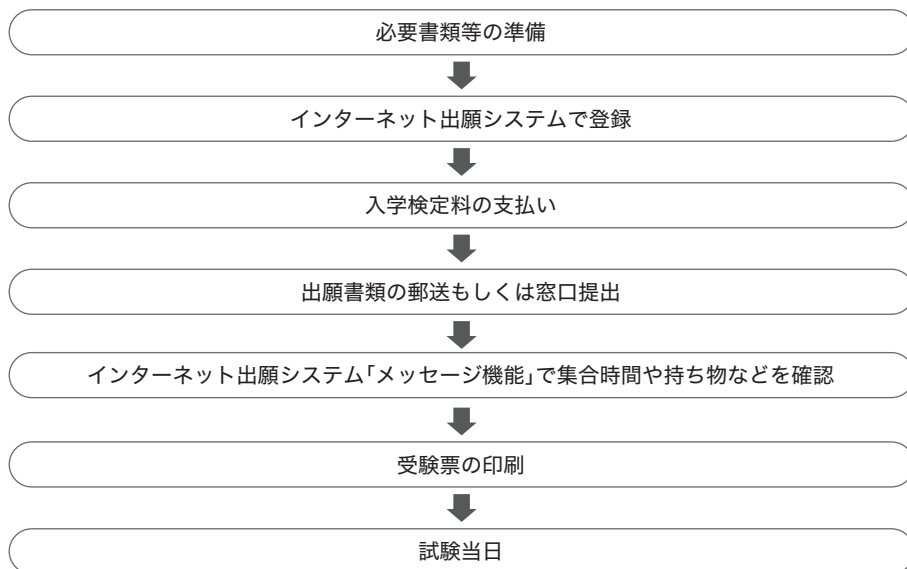
本学の教育理念・目的に共感し、以下の(1)(2)(3)(4)すべての項目に当てはまる人を受け入れる方針である。

(1)	高等学校等までの履修内容の、「国語」あるいは「日本語」を通じて、聞く・話す・読む・書くというコミュニケーション能力と、講義やゼミ、文献読解やレポート作成に必要な基礎的な能力を身に付けている。また、「英語」を通じて、国際的なコミュニケーションの修得に必要な基礎的な能力を身に付けている。同様に「数学」を通じて、情報通信技術に係る数学的思考や論理的な科目に必要な基礎的な能力を身に付けている。
(2)	社会の様々な問題について、知識や情報を基にして、筋道を立てて考え、その結果を説明することができる。
(3)	情報通信技術や経営学に興味があり、その知識やスキルを基に社会の様々な課題解決のため、新たな商品・サービス・ビジネスを生み出したいという意欲がある。
(4)	学校でのグループ学習、課外活動やボランティア活動などの経験があり、他の人々と協力しながら課題をやり遂げることができる。

出願方法

インターネット出願システムを利用します。

受験の流れ



【注意事項】

- ※選抜区分ごとに必要な出願書類が異なります。
- ※試験当日の集合時間や持ち物などの注意事項をインターネット出願システムのメッセージ機能で行います。
- ※試験前後の連絡はインターネット出願システムおよびメールにてご連絡いたします。必ず本学からのメール(@i-u.ac.jp、@syutsugan.net)を受信できるメールアドレスをご登録ください。

入学検定料

初回出願 30,000円 年度内2回目以降の出願 各10,000円

※入学検定料支払い時に事務手数料(受験者負担)が発生します。一度納入された入学検定料については、いかなる場合でも返還できません。
 ※一部の方は、「入学検定料免除制度」の対象となります。詳しくは9ページをご参照ください。

学生納付金

1. 入学金・授業料・施設維持費

時期	入学金	授業料(実習費含む)	施設維持費	合計
入学時	200,000円	1,080,000円	320,000円	1,600,000円

※入学時に本学の指定するパソコンもしくは同等の機能を有するパソコンが全員必携となります。パソコンの機能および購入方法等については合格者に送付する入学手続き案内にてお知らせいたします。

2. その他納付金

時期	保険料(4年間)	学生会費(入会費)	学生会費(年間費)	合計
入学時	4,660円	20,000円	5,000円	29,660円
2年次以降	—	—	5,000円	5,000円

※入学金を除き、授業料(実習費含む)、施設維持費は2年次以降も毎年必要です。
 ※授業料は年額一括納入していただくことが前提ですが、分納することも可能です。
 ※上記の他に、ソフトウェア、教科書、教材費等が別途かかります。
 ※保険料については、変更になる場合があります。

学費等の分納

本学では、留学生に対して学費等の分納を認めています。

分納を希望する場合は、必ず入学選考終了後(合格後)、教務・管理部(03-5665-1554)にご連絡ください。

■納付計画

1年次	手続金	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	1年次合計
	859,660	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
2年次	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	2年次合計
	635,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	1,405,000
3年次	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3年次合計
	635,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	1,405,000
4年次	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	4年次合計
	705,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	-	1,405,000

分納を利用して期の途中で退学する場合は、当該期分の学費の残金をただちに全額納入しなければなりません。

分納の期日を超えて納付されない時、学則第49条第1項に基づき除籍となります。

※当該期分の学費は「入学金手続き時納入金」「授業料前期」「授業料後期」「施設維持費」を指します。

※手続金(3月)には、当該期分の学費の他、「その他(保険料、学友会費)」を含みます。

※分納=月謝ではありませんのでご注意ください。

特待生選抜

以下選抜区分では志願者のうち希望者には特待生選抜を実施します。なお、特待生選抜は入学者選抜初回受験時のみ受験可能です。

1.特待生選抜

■年間減免額・対象選抜区分

種別	年間免除額	採用人数	選抜方法	対象選抜区分
A特待生	1,000,000円	A~C全体で 20名程度	面接	<ul style="list-style-type: none"> ・私費外国人留学生 一般選抜(A日程) <日本国内在住者対象> ・私費外国人留学生 指定校推薦型選抜(A日程) ・私費外国人留学生 学校推薦型選抜(A日程) <日本国内日本人対象> ・総合型選抜(A日程・B日程) ・学校推薦型選抜 指定校推薦・公募型推薦(A日程) ・一般選抜(A日程)
B特待生	500,000円			
C特待生	200,000円			
学生寮特待生	寮の費用 260,000円以上	若干名		

※入学手続きの際、初年度納入金から適用となります。(A特待生、B特待生、C特待生のみ)

※学生寮特待生(寮の金額)の年間減免額は、寮・お部屋によって金額は異なります。

■納付金

	種別	入学金	授業料(実習費含む)	施設維持費	合計
入学手続き時	A特待生	200,000円	80,000円	320,000円	600,000円
	B特待生	200,000円	580,000円	320,000円	1,100,000円
	C特待生	200,000円	880,000円	320,000円	1,400,000円

※入学後、毎年審査があります。

2.申請方法

インターネット出願時に「特待生選抜を希望する」にチェックを入れてください。

3.選考方法

入学試験時に面接を実施します。

私費外国人留学生 奨学生制度

学業および課外活動に積極的であり、かつ、本学に入学期後も他の学生の模範となる私費外国人留学生に対し、4年間の奨学金を給付します。入学後、各学期末に奨学金給付継続可否の審査を行います。

1.応募資格

なし

2.申請方法

インターネット出願時に「奨学生制度(奨学生選抜)を希望する」にチェックを入れてください。

3.採用人数

最大7名

4.奨学金額

2,000,000円 ※4年間総額

1年次		2年次		3年次		4年次		4年間 総額
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
400,000円	400,000円	200,000円	200,000円	200,000円	200,000円	200,000円	200,000円	2,000,000円

※入学手続き時の初年度納入金は、1年次前期400,000円を差し引いた金額となります。

※1年次後期以降は給付となります。

※詳しくは、合格者に通知します。

■納付金

	入学金	授業料(実習費含む)	施設維持費	合計
入学手続き時	200,000円	680,000円	320,000円	1,200,000円

5.出願期間/試験日

	出願期間	試験日
A日程	9/1(火)~10/8(木)	10/18(日)
B日程	11/1(日)~12/3(木)	12/13(日)

6.選考方法

入学試験時に面接を実施します。

7.注意事項

本奨学生制度は、原則返還の必要はありませんが、以下に該当すると認められた場合は、給付された金額の全部または一部を返還しなければなりません。奨学生制度への出願は、以下の内容に同意していることを前提とします。

- (1) 提出した書類の内容に虚偽があったとき
- (2) 退学、もしくは除籍されたとき
- (3) 疾病などのために学業継続の見込がないとき
- (4) その他本奨学生として適切でないと認められたとき

奨学生制度は特待生選抜を併願できません。特待生選抜受験者は、それ以降の日程で奨学生選抜を受験することはできません。

進級時学費減免制度

本学に入学後、進級時に前年次(4月～3月の1年間)の出席率が90%を超える方に、進級年次前期の学費から100,000円を減免する制度です。

■減免額例

1年次→2年次	・・・	100,000円
2年次→3年次	・・・	100,000円
3年次→4年次	・・・	100,000円
<hr/>		
計最大3回	・・・	300,000円

※退学もしくは除籍された場合は、減免額を返還しなければなりません。

※休学した場合、以後の資格を失います。ただし、兵役など本人の責によらない休学の場合は、復学後再度適用となります。

※詳細はお問い合わせください。

入学検定料免除制度

出願前に「オープンキャンパス」、「留学生対象オープンキャンパス」、「韓国独自説明会」に参加し、2026年12月3日(木)までに出願した場合、出願時にかかる入学検定料(30,000円)を免除します。

該当イベントに参加した方にお渡しをする「入学検定料免除証明書」を、出願書類と合わせてご提出ください。

※出願後の申請は受け付けておりません。

学校法人電子学園 日本電子専門学校との併願割制度

専願を除く各選抜区分において、IU 情報経営イノベーション専門職大学と同学校法人である日本電子専門学校との併願を申請し、最終的に、日本電子専門学校へ入学をされる場合には、本学へ納入いただいた入学金200,000円をそのまま日本電子専門学校への入学金200,000円として適用いたします。

なお、併願割制度をご希望の方は出願時に『日本電子専門学校併願申請書(本学所定様式)』の提出が必要です。

※出願後の申請は受け付けておりません。

※「親族入学優遇制度」との併用はできません。

親族入学優遇制度

入学希望者の2親等までが学校法人電子学園の在学学生・卒業生である場合、学生納付金より200,000円、親族同士で同年入学する場合はそれぞれ100,000円を減免する制度です。

1親等：父母、子

2親等：兄弟姉妹、祖父母、孫、配偶者

なお、親族入学優遇制度をご希望の方は出願時に『親族入学優遇制度申請書(本学所定様式)』の提出が必要です。

※出願後の申請は受け付けておりません。

※「学校法人電子学園日本電子専門学校との併願割制度」との併用はできません。

私費外国人留学生 一般選抜

併願

1.募集人員 30名(他の私費外国人留学生選抜と合計)

2.出願期間・試験日・合格発表日

日程	出願期間	試験日	合格発表日
A日程	9/1(火)~10/8(木)	10/18(日)	10/23(金)
B日程	11/1(日)~12/3(木)	12/13(日)	12/14(月) 11:00

※A日程志願者のうち希望者には特待生選抜を実施します。詳細は7ページをご覧ください。

※志願者のうち希望者には奨学生選抜を実施します。詳細は8ページをご覧ください。

※試験当日の集合時間などについては、受験票交付時にインターネット出願システムのメッセージ機能を通じてお知らせします。

3.試験科目

小論文(60分・800字以内)、面接・口頭試問

4.出願資格

次の(1)～(4)のすべてに該当する外国籍の者

(1)下記の①～④のいずれかに該当していること

①外国において、学校教育における12年の課程を修了した者または2027年3月31日までに修了見込みの者およびこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者¹

*1:12年の課程のうち日本の教育制度に基づく学校での在学期間が含まれる場合、8年以上を外国の学校において修了した者

②国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格、ドイツ連邦共和国のアビトゥア資格、フランス共和国のバカロレア資格、ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスド・レベル資格、インターナショナルAレベル、ヨーロピアン・バカロレア資格を有する者

③国際的な評価団体(WASC、ACSI、CIS)の認定を受けた外国にある教育施設の12年の課程を修了した者

④本学の個別入学資格審査²による認定を受け、2027年3月31日までに18歳に達する者

*2の詳細は本学までお問い合わせください。

(2)下記の①～③のいずれかに該当していること

①公益財団法人日本国際教育支援協会と独立行政法人国際交流基金が主催する、日本語能力試験(JLPT)の「N2」以上の認定を受けた者

②独立行政法人日本学生支援機構主催「日本留学試験(EJU)」の日本語科目で、読解・聴解・聴読解の合計が200点以上を習得した者

③公益財団法人日本漢字能力検定協会が認定する「BJTビジネス日本語能力JLRT聴読解テスト(筆記テスト)」のスコアが400点以上の者

(3)「出入国管理及び難民認定法」による在留資格「留学」を取得または更新できる者

(4)本学在学中に、学費及び生活費を支弁できる者

過去問題

2025年度の入学試験問題を公式Webサイトに掲載しています。

2025年度 入学試験結果

試験区分			募集人員	志願者	受験者	合格者	倍率
留学生	一般選抜(A～E日程)	併願	30名	30	28	24	1.2

入試に関するお問い合わせ先/アクセスマップ

墨田キャンパス

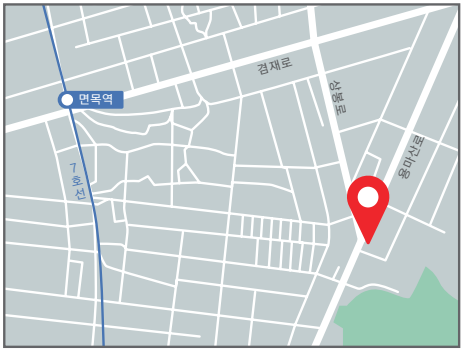


〒131-0044 東京都墨田区文花1-18-13
 iU 情報経営イノベーション専門職大学 入試課
 TEL 03-5655-1555
 Mail admission@i-u.ac.jp
 URL https://www.i-u.ac.jp/

受付時間 平日9:00～17:00
 (土曜、日曜、祝日は休業につき受付できません)

- 【東武亀戸線】 小村井駅 徒歩約6分
 - 【東京メトロ半蔵門線・都営浅草線・京成押上線・東武スカイツリーライン】 押上駅 徒歩約15分
 - 【東武スカイツリーライン・東武亀戸線】 曳舟駅 徒歩約14分
 - 【京成押上線】 京成曳舟駅 徒歩約13分
- ※本学までの交通手段や所要時間は事前に確認しておください。

韓国事務所



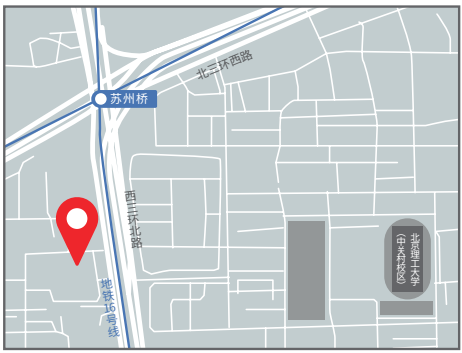
SEOUL市中浪區龍馬山路384, A棟 101, 102号
 TEL : 070-7760-1088
 E-mail : ndsndskorea@naver.com

台湾事務所



新北市板橋區南門街35號3樓
 TEL : 02-8968-2239
 E-mail : info.ntf@msa.hinet.net

中国事務所(北京)

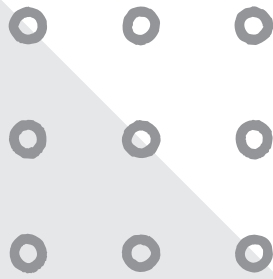


北京市海淀区西三环北路3号
 TEL : +86-1088818832
 メール : yaoyujie@xf-world.org
 地図 : https://tinyurl.com/2b8gz5vm

中国事務所(上海)



上海市楊浦區政熙路2号(国权路地铁站4号口步行430米)
 TEL : +86-13681831018
 メール : shujun@xf-world.org
 地図 : https://tinyurl.com/22ncgk33



iU 情報経営イノベーション専門職大学

東京都墨田区文花1-18-13
03-5655-1555

